



みなさんと議会をつなぐ



議会だより

平成 28 年 11 月
発行：比布町議会
編集：議会広報特別委員会

PIPPU TOWN ASSEMBLY



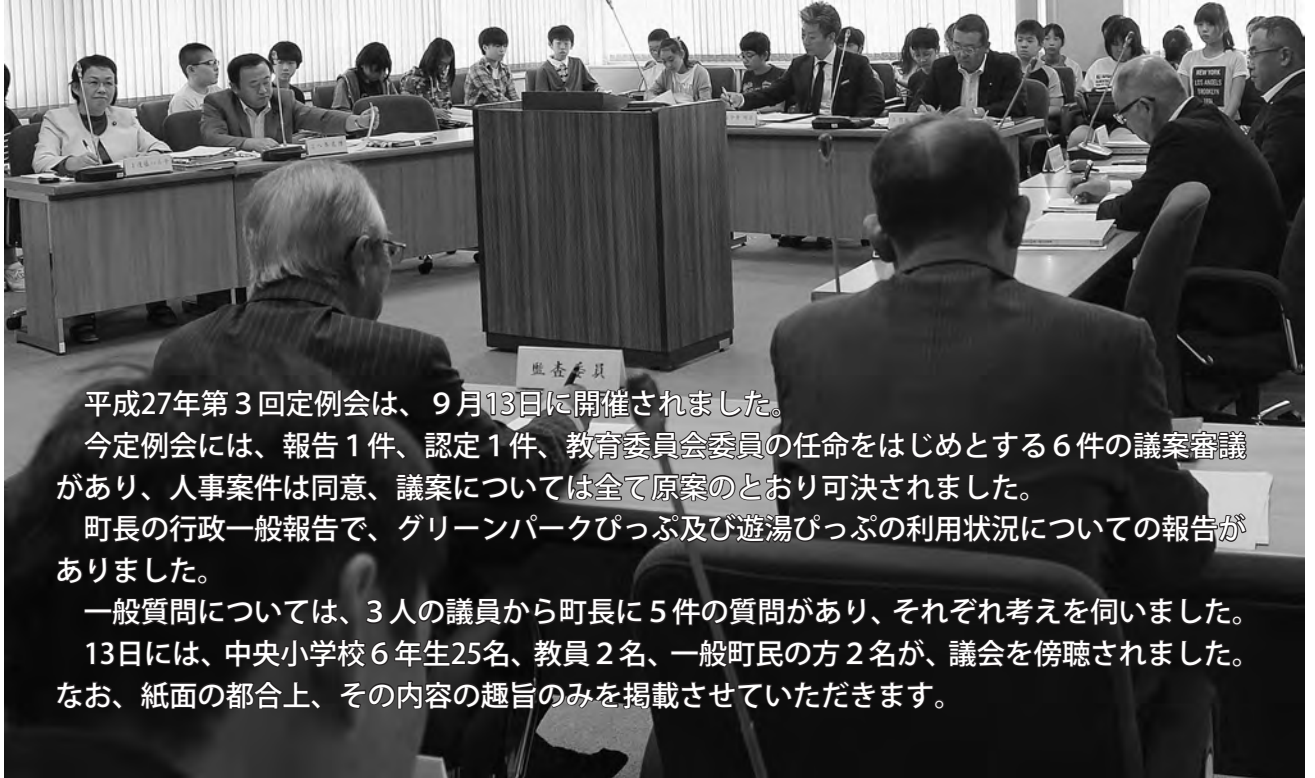
天気は最高！よ～し！1位目指してGO！・・さわやかマラソン10月1日（土）

審議結果・第3回定例会……………	2～3
第3回・4回臨時会・意見書提出…	3
ここが聞きたい一般質問……………	4～6
平成27年度決算特別委員会…	7～9
全道議員研修会・議員広報研修会…	10
委員会報告……………	11～15
議会のうごき……………	16

9月定例会

次のとおり可決しました

9月13日



平成27年第3回定例会は、9月13日に開催されました。

今定例会には、報告1件、認定1件、教育委員会委員の任命をはじめとする6件の議案審議があり、人事案件は同意、議案については全て原案のとおり可決されました。

町長の行政一般報告で、グリーンパークぴっぷ及び遊湯ぴっぷの利用状況についての報告がありました。

一般質問については、3人の議員から町長に5件の質問があり、それぞれ考えを伺いました。

13日には、中央小学校6年生25名、教員2名、一般町民の方2名が、議会を傍聴されました。

なお、紙面の都合上、その内容の趣旨のみを掲載させていただきます。

報告

◆地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく報告

平成27年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率を議会に報告し、財政の健全化を維持するものです。

健全化判断比率は赤字決算ではありませんので該当しません。実質公債費比率は地方交付税の増などにより、昨年9.9%に対し今年は9.2%に比率が改善されました。

将来負担比率は積立金が増加したことなどにより、昨年度マインス2.5%で今年度はマインス16.5%に増加しました。3つの会計とも資金不足比率は該当しません。以上の報告がありました。

認定

◆平成27年度比布町歳入歳出決算認定

中本委員長他5人で構成する決算特別委員会に付託された平成27年度決算を審議の結果、認定することに決定しました。

人事

◆教育委員会委員の任命
任期満了に伴い安藤裕子氏を再度教育委員会委員に任命することと同意しました。

◆固定資産評価審査委員会委員の選任
任期満了で固定資産評価審査委員を退任される太田敏雄氏の後任に、六戸豊彦氏を選任することと同意しました。

皆さんも傍聴しませんか

次回の定例会は12月に開会の予定です

詳しい日程は、無線放送等でお知らせしていますので、ご留意ください。

◆皆様の傍聴をお待ちしています。◆



条例改正

◆比布町観光施設の設置及び管理條例の全部改正について
12月1日オープン予定のびっぷスキー場センターハウス及びスポーツ研修センターを一括して管理することを旨とし、条例の全部を改正し、原案のとおり可決されました。

補正予算

◆平成28年度比布町一般会計補正予算(第5号)
障害者自立支援給付事業還付金317万3千円、担い手育成支援事業補助金439万4千円、橋梁維持管理委託料330万円などが主な増額内容で、原案のとおり可決されました。

◆平成28年度比布町国民健康保険特別会計補正予算(事業勘定・第2号)
国民健康保険制度関係業務準備事業補助金131万2千円の増額補正で原案のとおり可決されました。

◆平成27年度比布町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
建築土木委託料620万円の増額補正で、原案のとおり可決されました。

第3回臨時会

7月 15日

◆平成28年度比布町一般会計補正予算(第3号)
移住・定住対策事業補助金3千200万円、民間集合住宅建設用地への公衆用道路の整備1千700万円等の増額補正で原案のとおり可決されました。

◆平成27年度比布町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
民間集合住宅建設に伴う簡易

水道事業の設計及び工事310万円の増額補正で原案のとおり可決されました。

◆平成27年度比布町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
民間集合住宅建設に伴う下水道事業の設計及び工事550万円の増額補正で原案のとおり可決されました。

第4回臨時会

8月 10日

◆平成28年度比布町一般会計補正予算(第4号)
地方創生加速化交付金2千400万円の増額補正で原案のとおり可決されました。

意見書を提出

第3回定例会において、次のとおり意見書を採択し、それぞれ関係機関に提出しました。

◆林業木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
【提出先】

衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣

●●●●● 会計補正額と補正後の総額 ●●●●●

会計区分		補正額	補正後の総額
一	一般会計(第3号)	57,000千円	4,310,592千円
一	一般会計(第4号)	24,000千円	4,334,592千円
一	一般会計(第5号)	31,840千円	4,366,432千円
特別会計	国民健康保険(第2号)	1,312千円	652,703千円
	簡易水道事業(第2号)	3,100千円	248,811千円
	公共下水道事業(第2号)	5,500千円	105,014千円
	公共下水道事業(第3号)	6,200千円	111,214千円

() 内は補正回数



Q 比布町防災計画について

A

さまざまな防災計画。対策がありますので

今後協議・研究をしていきたい

町防災計画について

植西議員 最近の災害事例に上富良野町と美瑛町の間で起きた雷による長時間の停電事故があります。これが冬場に起きた場合の対策はどのようになっていますか。

伊藤町長 様々な公的機関と連携し災害時に備えています。しかし、長時間停電の場合の対応については課題があり、冬場に避難が必要となるケースには高齢者への移動介助を含め課題の残る状態となっています。

植西議員 災害予想に関する連携はどの程度進んでいますか。また愛別町のように気象庁の百葉箱の無いところからはどのようにデータを収集するのですか。

伊藤町長 各地域を職員が手分けして巡視し、現状把握をもつて予想しています。

植西議員 気象データ観測地点を増やす検討はしていますか。またインターネットのSNSを

活用した情報連携はされていますか。

伊藤町長 各首長の議論の中にもデータ観測地点が少ないという議論がありました。またSNSの活用については今後検討します。

植西議員 町民からSNSなどでの情報提供の受け口はありますか。

伊藤町長 研究が必要だと思います。

植西議員 防災訓練を日常の中に、例えばゲーム性をもって訓練を実施するような準備はありますか。

伊藤町長 これも研究してみたいと思います。

植西議員 冬期間の災害時にストーブは必要です。停電が発生しても暖が取れるように各家庭に電池着火式のストーブを購入する際、補助を設定する用意がありますか。

伊藤町長 全てを補助することは難しいと思います。災害へ

の備えは個々の家庭で行うことが基本だと考えています。

水道事業の展望について

植西議員 水道事業の行き詰まりが全国で叫ばれ始めています。水道管の更新を含めた水道事業の展望をお聞かせください。

伊藤町長 水道事業は国の指導の通り独立採算をもって遂行されるべきものと認識しています。

本町においてはまだ先の話ですが人口減少に伴う料金徴収の減少なども踏まえ、中長期的な経営戦略を策定する予定です。

植西議員 国からの指導で一般会計からの繰り入れが制限されつつある以上、料金で水道インフラの更新をまかなわなければならなくなります。アセットマネジメントの導入は検討されていますか。

伊藤町長 色々と工夫していますが最終的な手段は料金を上

げることになります。アセットマネジメントについては水道事業の連携も含め、良い効果が期待されないため検討しています。

植西議員 資金管理を行う連携について考えてみる余地はありませんか。

伊藤町長 インフラ整備についての連携は良い試算が得られなかったこともあり考えておりません。資金連携については研究したいと思います。

植西議員 水道管は法定40年、実質60年で交換するのが一般的なようですが劣化状況などどのように判断されていますか。

伊藤町長 流量計の数値で異常を判断しています。

植西議員 水道管更新時期の水道料金は上がると考えてやむを得ないですか。

伊藤町長 できるだけ使用者の方に負担がかからないように考えていますが、その時の状況をみながら検討させていただきます。

《語句解説》アセットマネジメント…本来管理すべき管理者に代わって代行すること。特に資金管理を目的とする場合が多い。

環境保全活動に町民からの支援拡大が必要では

遠藤議員 環境保全は町内4

組織の南、中央、東、北地区により共同活動を行い、比布の農地を守っています。町の平成28年度予算は日本型直接支払交付金、約1億1千400万円、農地・農業用水等の資源の適切な保全管理や農村環境の良好な保全と農業・農村の持つ多面的機能の維持・増進に向けた取り組みの中で農業者は、まとまりながら保全活動をしていると思います。

伊藤町長 各活動組織においては北海道が定めた活動指針に

基づき、1年間の活動計画を定め、農地の草刈、水路施設の泥上げ、農道の砂利補充等の保全活動と水路施設や農道の軽微な補修、沿道などへの植栽等を共同活動により積極的に活動を展開しています。

活動計画の策定は、地域での話し合いにより決定するので、地域コミュニティの維持に大きく寄与し、農地の維持管理をはじめ耕作放棄地の発生防止策の検討や農地の集積においても、活動組織内において協議、検討が進められることを期待しています。

伊藤町長 各活動組織においては北海道が定めた活動指針に

れ、地域の皆様の理解と協力も必要ですし、解決しなければならぬ課題も多いです。

多面的機能支払交付金や国の関連施策を絡めるなど、多方面からより良い方策を探る必要もあり、今後も継続して支援してまいります。

遠藤議員 もう少し視野を広げて農家をやめて町区にいる人や後継者に譲り渡し少し時間の余裕のある人など構成員を増やすことを4地域組織へ提案をしていく考えはありますか。

伊藤町長 私の地域にも非農家の人と一緒にやっているという実態があるので、今後理解してもらうために、組織の中でも議論して頂く必要があります。

交通安全協会への啓発・支援強化について

遠藤議員 町民の安心・安全をさらに推し進めていく立場の

町長に考えを伺います。

交通安全協会々費についての規定がいまいちな事もあり、自動車所有のある・なしに関わらず会費が徴収されています。毎年1回の協会費の徴収の領収書もありますが、システムの内容が最新のものになっていないように思います。議論が必要ではないでしょうか。

また、飲酒運転撲滅根絶対策の条例制定を考えていますか。

伊藤町長 会費の徴収は決して強制ではないことから自動車の所有に関わらず退会は可能であり、現に交通委員さんが会費徴収のため訪問の際、自動車所有なしとなったことから退会を申し出る方もいると伺っています。

ご意見のとおり、交通安全の活動は「自動車に乗るから」「自動車を持つているから」会員となるのではなく、子どもから高齢者の方まで幅広くその活動に関わって、交通安全への意識の向上を図ることが大事であると考えて、町として支援の継続を行ってまいりますのでご理解を頂きたいと思えます。

また、条例制定はご意見を頂きながら進めていきたいと思えます。

Q

環境保全活動に

町民からの支援拡大が必要では

A

各地域・組織内で理解してもらうように

議論して頂く必要があります



Q

比布町地方創生の経過検証と
今後の行政機構について

A

精神論だけではなく目に見える方向性を
出していききたい
行政機構については
組織全体の見直しも考えている

佐藤議員 平成26年12月、比布町の地方創生戦略の展開と町づくり戦略を実践する専門部署の配置・適正職員数の質問をしました。当時の答弁は適正な人数と職員の能力を100%、120%発揮できるように配置も含め、予算編成まで検討するが主な答弁でした。

その後平成27年12月に地方創生加速化交付金が閣議決定と共に取扱いが公示され、相对予算1千億円、補助率10/10、各事業のKPI(重要業績評価指標)の設定やPDCAサイクルの整備、事業終了後に関係機関の効果検証が責務とされました。当町も一次審査に、スキー場関係の雇用創出を目的としたセンターハウスの備品購入と定住対策関連を申請するも不採択となり、本年3月18日付に第一次分、906億円についての交付事業は決定されました。

一次採択公表と同時に残り、94億円を対象とした再公募が行われ、本町は「比布町 職・住・発信創生事業」と題し、調査研究費4件合わせて2千400万円の申請採択を受けました。

本年8月10日の第4回臨時会で二次申請の採択にあたり、地元比布町の地方創生に関わる体制が遅延し危機感を覚える、との問いには担当課・執行者より認識と情報の不足があったとの説明を頂きました。

要因は、「現在要求される事業処理が日々膨大化している事」、「本町の事業を遂行する組織体制が整備されていない事」が明確で、これらに対応する為には、「執行者の更なる理解と努力が不可欠」だと思います。専門部署の整備は、関係府省・道・近隣町・各課・町内諸課題との調整を図り成果を出すために少しでも早い体制づくり

が不可欠です。

伊藤町長 交付金概要説明及び国、道との協議経過で、観光分野の制限は特設設けられておらず、採択の可能性も当初はありとされ、当町はスキー場整備、現在要望中の中学校改築等、備品整備についてはハードルが高いと認識はありながら、財政負担軽減を目指し一次申請を行いました。

現状の組織体制は、組織全体の見直しも必要と考えており、内部協議を十分に行い、年度内に一定の方向を示します。

佐藤議員 本町よりも人口が少ない近隣の町でも、地域振興室と地方創生戦略室の2つが配置され、更に人事交流の一環も含め若手職員を内閣府地方創生推進事務局へ派遣をし、限られ

た予算の中でも果敢に取り組んでいる町が既に複数存在します。これらの町は、周到な準備を行ない継続的な努力の重責あつての組織配備だと思えます。年度内に一定の方向性をお示し頂けるといいうが、精神論だけではなく、国の政策に十分対応できうる、町の躍動感が、職員が、より一層町民に伝わる結論をお示し頂けるようお願いいたします。

更にここ数年、専門技術者の配置がなく、駅舎・センターハウス改築・スキー場ゲレンデの造成等、技術力と経験の不足を感じ、この点にも考慮願ひ所見を伺います。

伊藤町長 精神論だけでなく目に見える方向性を出して行きたいと考えています。

専門職員の不足については以前から必要な整備をしなければならぬという思いも強く持っております。

特に、建設部門の専門技術者の配置が遅れている事は率直に受け止め検討します。

平成27年度決算を認定しました

平成27年度決算は、議長及び議選監査八巻良博議員を除く議員6人で構成する予算特別委員会（委員長 中本 諭）を設置し、9月13日～14日の2日間に渡り審議を行いました。

定例会最終日の9月15日、中本委員長から「委員会として平成27年度決算を認定すべき」との審査結果報告がありました。



決算 審議

一般会計（歳入）

町税関係

植西委員

不納欠損額が394万円となっております。その内容と不納欠損とした要因等経過を伺います。

税務住民課長

不納欠損額の内、一番大きいものが法人の固定資産税で、不動産差し押さえにより時効を中断していましたが代表者が死亡したこと、差し押さえの不動産に保証協会の根抵当権がついていて、配当見込みが無いこともあり、地方税法第15条の7の第5項の規定により即時消滅として不納欠損処分とさせていただきました。

一般会計（歳出）

総務費関係

佐藤委員

熟練の技術や地元を熟知した行政経験豊富な退職職員の再任用について、どのような扱いをされているか伺います。

総務企画参事

再任用については国の制度に基づき、条例・規則を制定し、毎年対象者に希望調査を行っていますが、希望がない状況です。再任用職員を多く受けると新規採用職員の門を狭めることもあるので、慎重に検討していきたいと思っています。

植西委員

職員の時間外勤務手当が1千183万円と高額になっていますが、その原因について伺います。

総務企画参事

職員の時間外勤務につきましては、近年横ばいないしは増加傾向にあるというのが現状です。その年々で差があり、国の制度改正に伴う業務量の増える場合があると思います。

区分	予算現額	支出済額	比較
一般会計	4,108,466,000円	3,927,832,023円	180,633,977円
国民健康保険特別会計	672,955,000円	666,009,757円	6,945,243円
後期高齢者医療特別会計	63,268,000円	61,096,140円	2,171,860円
介護保険特別会計	563,411,000円	550,698,791円	12,712,209円
観光事業特別会計	117,235,000円	95,850,501円	21,384,499円
簡易水道事業特別会計	240,300,000円	238,337,231円	1,962,769円
公共下水道事業特別会計	107,100,000円	103,982,465円	3,117,535円
合計	5,601,949,000円	5,360,537,173円	241,411,827円

反面、恒常的な時間外勤務も発生しているのも現状です。監査委員からも指摘があり、是正に向けて今後とも取り組んでいきたいと考えています。

今井委員

情報促進事業はマイナンバー制度も含めた情報セキュリティ対策の経費なんですか。また、システムの管理の実態についても伺います。

総務企画課長

27年度については、マイナンバー制度移行に伴うシステム改修費が主なものです。

また、システムの情報セキュリティ対策については繰越明許により28年度実施をしました。

民生費関係

山内委員

医療費の関係で、当初予算から減額の補正予算を行ったにもかかわらず、2千100万円もの不用額が出ている理由を伺います。

保健福祉課長

医療費自体は月2千万単位で

動きますので、疾病の状況によっては予測がつけづらい場合があります。特に年度末は時期的に医療費が伸びる場合があるので不足の事態を避けるため2千万円程度を計上しているところですが、27年度については予想を下回ったという状況でしたのでご理解を頂きたい。なお、今後は的確に予測をしながら高額の不用額にならないような執行に努めます。

衛生費関係

植西委員

町民総合健康診査事業で予防に対する意識がなかなか上がらない状況ですが、国保税自体が上がる可能性もあるので今以上に啓発啓蒙をすべきではないですか。

保健福祉課長

継続して周知努力を行って受診率は55%と少しずつ上がってきています。保健師の訪問活動を町民の皆さんにもっと理解していただけるよう取り組んでいきたいと思えます。

農林業費関係

今井議員

農地流動化対策促進事業は43件ありましたが、半額補助の貸貸より直接売買を望んでいる農業経営者の方もいますので、今後それに向けて考えがあればお聞かせ下さい。

産業振興課長

産地交付金の取り扱い変更の関係で27年度は26年度より倍額となりました。今後はさまざまなおニーズに対応できるように研究していきたいと思えます。

農業委員会会長

町内での賃貸状況は260件程度、田は676ヘクタールとなっています。

商工費関係

山内委員

観光等バス運行事業で960万円掛かっているが、バスも年数がたっているので民間に委託してはどうでしょうか。

産業振興課長

バス購入は3千万円から4千万円掛かる。民間会社とも協議をしています。来年度の運行ルートの変更も含めて検討しているところです。

建設費関係

遠藤委員

町道除雪の際に歩道や縁石が削られて破損している箇所が見受けられるのもう少し丁寧な除雪作業ができないですか。

また、破損した箇所の補修はどのような計画で行われていますか。

建設課長

町道等を綺麗に除雪するため路面すれすれに除雪作業を行っているため縁石等を傷つけてしまう場合もあります。

路面舗装や縁石等の破損箇所については冬期間や融雪後に補修を行っています。

消消費関係

山内委員

救急体制の件で高速道路や高規格道路の担当と出動した場合

の経費負担はどうなっていますか。

消防署長

出動については、下り旭川、上り士別が出動しますが、大雪消防組合として出動することになっていきます。経費につきましても、出動した署が負担しています。

教育費関係

遠藤委員

スクールバスの路線を変更したが、経費の増額や運行に支障はありませんでしたか。

生涯学習課長

路線を変更した事による経費の増は無いですが、運行の時間が若干窮屈になった経過があります。また、運転手から冬期間は除雪の関係で道幅が狭くて運転しにくいという話も受けています。

観光事業特別会計（歳入・歳出）

植西委員

スキー場従業員を確保するためにも賃金をアップしてはどう

か、また、12月、3月の雪不足によるスキー場の営業が出来ない場合の休業補償の見解について伺います。

産業振興課長

賃金については、経験年数により若干の差を付けて支給している。休業補償については、昨年は雪不足のためオープンが非常に遅くなり労働基準法に準じて休業補償をさせて頂いた経緯もあります。

財産に関する調査

今井委員

今後、中学校校舎・役場庁舎改築等に当たり、基金の流用について考え方を伺います。

植村副町長

借金は世代間の公平負担という考え方があり、公債費比率や将来負担比率などの財政指数は、基金が多くある結果として低くなっています。基金を多額に投入すると指標が悪化する可能性があり財政サイドと協議しながら補助金の導入と適正な借り入れを行いたいと思います。

総括質疑

佐藤委員

27年度の決算の検証させていただき必要な部分にはしっかりとお金を掛け抑制できる部分に関しては、精一杯制御をし、思考を懲らした予算執行を展開されていると評価いたします。

今後、十分な計画を立て、更に効率の良い行政執行を目指して頂きたい。

加えて、庁舎内の照明全体が暗く、過度な節電は来庁者への印象・対応、職員の健康管理・業務効率にも悪影響をおよぼしかねません。

町長室も含め適切に明るく、躍動的な役場庁舎であってほしいと思います。

伊藤町長

投資と節約のバランスを更に考慮し、次年度以降の予算執行に努めて参ります。

また室内照明については、来庁者への印象、職員の作業効率、視力や体調への影響もあり、特に旧式の庁舎でもある為、適切な使用に心がけます。

北海道町村議会議長会主催 全道議員広報研修会 8月23日 ポールスター札幌

8月23日、全道議会広報研修会に参加して参りました。

開催地は札幌市内、講師は全国町村議会広報サポーターとしてご指導頂いております、芳野政明先生（昭和22年生まれ・宮崎県のご出身）に、ご講演頂きました。

当日は台風の影響で空路が欠航し新幹線を併用され、約10時間かけての来道となった事、この夏の甲子園で北海高校が、準優勝を納めた事にもふれて頂きました。

今回は「住民に読まれ議会活動が伝わる議会報の基本と編集技術」と題し、広報誌作成の基本は住民の興味、関心、読者ニーズに合わせるよう見出し・レイアウト・記事・写真などの編集技術を重ねていく事が不可欠で、常に到達点はないそうです。

講演を拝聴し町民の皆さんに、より編集委員の創意が伝わる広報である様、研鑽し取り組んで参ります。

異常な気象の影響で、本会参加を断念された委員の皆さん、被災された方々に心より、お見舞申し上げますと共に、一日も早い復興を祈念し研修報告といたします。

佐藤 康 則



全員協議会

8月10日開催

『地方創生加速化交付金

（2次募集分）内示について』

〈目的〉

一億総活躍社会の実現に向けた緊急対応として、「希望を生み出す強い経済」を実現するため、また、「子育て支援」や「安心につながる社会保障」も含め「新・三本の矢」の取組に貢献するために創設。「地域のしごと創生、稼ぐ力、地方創生を推進する人材育成」に重点

内容：国の平成27年度予算。交付率100%。

基本的にソフト事業を対象。これまでの交付金、補助金と異なり、より先駆性が求められる。

〇〇〇比布町地方創生加速化交付金対象事業〇〇〇

- 一. 調査研究委託料（700万円）
 - ① 移住・定住希望者ニーズ調査委託
 - ② 空き家処分移行調査委託
- 二. 研修・実習委託料（1千500万円）
- 三. まちづくり社会設立補助金（200万円）

『平成28年度一般会計補正予算

（第4号）について』

地方創生加速化交付金事業 2千400万円の増額補正

委員会活動

総務常任委員会

▼▼▼7月15日開催

【総務企画課】
《報告事項》

地方創生加速化交付金(二次)
申請について

- ・国の27年度補正予算、交付率100%上限4千万～8千万、より先駆性が求められる事業
- ・一次申請については、観光施設整備による雇用創出を目的にセンターハウス関連の備品整備について申請したものの不採択となった。
- ・一次不採択の自治体、未申請の自治体対象に、二次の募集があり、先に採択された自治体の例を参考に二次の申請予定。

《協議事項》

民間賃貸住宅建設支援について

- ・昨年策定をした比布町人口ビジョンにおいて町外からの通勤者が300名強に上る事、また子育て世代向けのアンケート調査において女性が働ける場所と共に、賃貸住宅の整備が上げられ子育て世代の確実な移住・定住を促進するために、町総合戦略において新規民間集合住宅建築24戸を目標に掲げ、本年度民間集合住宅建築促進の為に補助金を予算化する。(当該建築費の40%400万円/戸・くるみ団地跡地は30%300万円/戸を何れも限度とする)

第3回議会臨時会提出議案・

補正予算(案)について

一般会計補正予算

- ・総務管理費 企画費 移住・定住対策事業3千200万円の増
- ・保健衛生費 保健衛生総務費 保健衛生管理費310万円の増
- ・道路橋梁費 道路維持費 道路維持事業費1千710万円の増

簡易水道特別会計補正予算について

- ・水道事業費 建設事業費 簡易水道施設整備事業310万円の増

公共下水道特別会計補正予算について

- ・下水道事業費 建設事業費 下水道事業関係費550万円の増
- ・その他

産業建設常任委員会

▼▼▼7月15日開催

第3回議会臨時会提出議案・
補正予算(案)について



activities

総務常任委員会

9月1日開催

【税務住民課】

《報告事項》

平成28年度町税等の課税状況について

(普通税)

- ・町民税 納税義務者 1千710人
- ・当初調定額 1億2千314万3千円
- ・道民税 納税義務者 1千710人
- ・当初調定額 8千63万9千円
- ・固定資産税 納税義務者 1千799人
- ・課税額 1億2千923万円
- ・軽自動車税 対象台数 2千700台
- ・調定額 1千276万4千円 (国保税)
- ・28年度国保税の当初調定額 1億1千996万6千900円
- ・その他

平成28年度(7月末)町税等の収入状況について

上川滞納整理機構について
機構全体引受件数 216件

1億4千858万1千301円

徴収額

2千715万3千633円

徴収率 18.27%

・比布町分

18件

673万8千166円

徴収額

118万8千100円

徴収率 17.63%

マイナンバー交付状況について

・平成27年度交付 110枚

・平成28年度(7月末現在) 63枚 交付累計 173枚



【保健福祉課】

《説明及び協議事項》

9月定例会提出議案

一般会計補正予算(案)について

・社会福祉総務費 臨時福祉給付金等支給事業 54万6千円の増

・社会福祉総務費 地域介護・福祉空間整備促進事業 92万7千円の増

・一般管理費

92万7千円の増

・国保関係事務費

131万3千円の増

・その他 4件

新国保制度の広域化運営と方向性について

・改革後の国保運営に関わる都道府県と市町村の役割について

・その他

【生涯学習課】

《報告事項》

平成27年度比布町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価について

平成28年度「君の夢プロジェクト」推進事業について

中学校修学旅行支援の部(前号記載済み)

中学校部活支援の部

中学校部活支援の部

・剣道部(前号記載済み)

・野球部・元プロ野球トレーナーグコーチによる野球教室プロ野球観戦

(部員13名参加) 16万9千円

・吹奏楽部・北見吹奏楽団によるパート別技術指導

(部員25名参加) 11万7千円

「中学校チャレンジゼミ」について

・開催期間及び教科数 8月〜12月、事前説明会含め7日間の開催、5教科

1年生、2年生各15時間

3年生17時間

図書館蔵書点検について

・28年度図書館不明分1冊

・中央小学校15冊

・比布中学校11冊

平成28年度比布町文化賞・文化奨励賞について

・本年度該当なし

旧蘭留小学校校舎等後利用に係る経過について

・6月1日施設賃貸契約確約書に基づき8月末まで設備及び周辺整備終了。

中学校校舎改築事業について

文科省では、平成29年度予算で学校改築を目標とし、既の実施設設計が完了している全国の自治体対象に、事業調査・調整中です。

比布町は、昨年度に全ての設計が整い、平成28年度当初より改築予算要求を継続しています。

【総務企画課】

《報告事項》

第3回定例会提出議案について

平成28年度普通交付税の決定について

平成28年度人事院勧告について

地域交通について（JR・バス・タクシー）

その他

- ・比布駅グランドオープンについて
- ・ふるさと納税の状況について
- ・平成29年度職員採用試験について

《協議事項》

第3回定例会提出議案（総務企画課分）について

地方公共団体の財政健全化に関する報告について

平成27年度比布町歳入歳出決算認定について

平成28年度一般会計補正予算（第5号）について

- ・総務管理費 一般管理費 情報化促進事業の増162万
- （マイナンバーシステム整備費）
- ・総務管理費 企画費 移住・定住対策事業の増
- 2千400万円
- ・土木費 都市計画費 公共下水道費
- 既定予算の増 350万円
- ・その他



産業建設常任委員会

9月5日開催

【商工・観光部門】

《報告事項》

「遊湯びっぷ」利用状況について

て

入館者8月末現在

入浴8千706人

昨年比94.0%

宿泊1千299人

昨年比95.6%

合計1万5人

昨年比94.1%

熊の出没情報があり来場者数にも影響か。

「グリーンパークびっぷ」利用状況について

8月末現在

381万7千876円

昨年比84.89%

競技者の減少が止まらな

い。

「地域ふれあい館」利用状況について

利用者数8月末日現在

583名

昨年比105.2%

2016

びっぷ良佳村フェスティバル

延べ来場者数 1千人

（参加者・役員含む） 天気悪し

「びっぷいちご狩り」結果について

期間6月20～7月20

農園数8園

来園者数7千450人

6

びっぷ丸ごと水田！泥んこだらけのバレーボール大会201

6

「びっぷ七夕天国」開催結果

について

町民の娯楽や親睦を目的。

今後は旧町民等との交流や情報交換も。

商工業関係支援事業について
昨年度と比較すると利用減少

《協議事項》

比布町観光施設の設置及び管理条例の全部を改正する条例について

今年度センターハウスの新たな設置とリフトの移設等、名称の変更や使用料や占用許可等、文言の見直しや追加条文について協議しました。移設したロープリフトの安全性について等、議論となりました。



比布スキー場センターハウス
完成予想図

平成28年度びっぷスキー場営業方針について

待望のセンターハウス完成やスキー場50年記念事業など来場者増が見込まれる事もあり、より一層のお客様への利便性やサービスが求められる。



工事中の
比布スキー場センターハウス

パークゴルフの現状について
平成12年度に遊湯びっぷの付帯施設グリーンパークびっぷは、当初18ホールで開始、翌年からは36ホールで営業をしてまいりました。



グリーンパークびっぷ

平成15年度までは右肩がりの使用来場数でした。しかし近年は近隣施設市町に36ホール公認コースの整備や大会の減少、競技者の減少等の影響により運営は損失もあり厳しいものになっています。今後は利用者の分析を徹底し、来場者の増加を目的とした管理の在り方や公園としての機能重視等、検討してまいります。

《農林部門》
《報告事項》

作物作付状況

水稲 件数169

面積 14万9千267㎡、
平成27年度との差
△210.70㎡

昨年比99.9%

秋小麦(きたほなみ)

作付戸数 23戸

作付面積

5千861.1㎡

秋小麦(ゆめちから)

作付戸数 3戸

作付面積 2千33.0㎡

WCS作付け戸数 11戸

作付面積

24万8千450㎡

生産予定数量

60万8千300kg

(1千738ロール)

※1ロール350kg

昨年より2戸増

町の重点振興野菜の丸さやインゲン生産が減り、オクラ作付が増えている。



平成28年度経営所得安定対策
加入申請状況

米の直接支払交付金 加入
申請者計166名
未加入者2名
水田活用の直接支払交付金
水田保有者 283名
転作作物作付農業者
242名
畑作物の直接支払交付金
対象作物作付者 69名
営農継続支払申請
比布町集落営農組織につ
ては構成員24名中、該当作物
を作付けした22名が加入

《協議事項》

有害鳥獣捕獲事業の増につ
て

比布町有害鳥獣捕獲従事者
育成支援補助要綱に基づき新
規に1名加入

【建設課】

《報告事項》

諸工事の発注及び進捗状況に
ついて
今回の台風による河川、道
路等被害の報告はありません

平成28年度市街地区道路清掃
作業・クリーン作戦について

《協議事項》

公共下水道事業特別会計の補
正について

汚水管内カメラ調査を平成
29年度分までの交付金を前倒
し長寿命化計画を策定しなけ
ればならないため、過不足分
を補正

簡易水道事業経営戦略、下水
道事業経営戦略について

今後の比布町の給水人口や
使用水量の算出等を把握、現
状分析し、上下水道事業が合

理的に経営していけるのかを
図る計画

【農業委員会】

《報告事項》

平成28年産水稲作況調査日程
について

8月4日 水稲作況調査に
ついて町から農
業委員会へ諮問
9月1日 水稲収量調査合
同会議
9月9～11日 悉皆調査
9月15日 組合評価
9月20～21日 連合会評価

農地法及び基礎強化法による
農用地集積状況について

農地法第3条 4件
農地利用集積計画 30件
農地法第4条転用
(所有者) 2件
農地法第5条転用
(所有者以外) 2件

農業委員会制度改正について

新たな農業委員会法が平
成28年4月1日に施行され
て現在、道内では「市町村長
任命の農業委員会」と「公選
制の農業委員会」が存在する。
本町も今後選任手続きを
進め、農業委員の任命を行う。

旧蘭留小学校

跡地利用が決まりました

【目的】

24時間女性専用スポーツジム

【概要】

トレーニングルーム、ヨガ ストレッチル
ーム、フィットネス ダンスルーム、浴室 シャ
ワールーム、ウォーキング ランニングコース、
厨房、ロッカールーム等が整備

※この事業にかかる改修費用は6月定例会で
300万円の補正予算を可決しています。



国道40号線から見える看板

◆◆◆ 議会のうごき ◆◆◆

8 月

- 3日 森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡
会総会 (旭川市、産建委員長)
- 6日 北口ゆうこうと語る青空の集い
(士別市、議長)
- 10日 全員協議会 (役場、全議員)
議会運営委員会 (役場、各委員、議長)
第4回議会臨時会 (役場、全議員)
- 13日 戦没者追悼法要 (比布霊園、議長)
- 19日 家畜慰霊祭 (ふれあい広場、議長)
上川中央部市・町議会議長定例会議
(美瑛町、議長)
- 23日 全道議会広報研修会 (札幌市、各委員)

9 月

- 1日 総務常任委員会 (役場、各委員、議長)
- 4日 ささき隆博意見交換会・ふるさとのつどい
(旭川市、議長)
- 5日 産業建設常任委員会 (役場、各委員・議長)

- 8日 比布町戦没者追悼式 (改善センター、各議員)
- 9日 議会運営委員会 (役場、各委員・議長)
- 13-15日 第3回議会定例会 (役場、全議員)
- 13-14日 平成27年度決算特別委員会 (役場、全委員)
- 15日 議会運営委員会 (役場、全委員・議長)

10 月

- 14日 議会広報特別委員会 (役場、全委員)
「北海道森林づくり基本計画」及び「道有基本
計画」の見直しに係る地域意見交換会
(旭川市、産建委員長)
- 17-18日 総務・産業建設常任委員会合同視察調査
(倶知安町・由仁町、全委員・議長)
- 20-21日 上川管内町村議会議長研修会
(東川町、議長)
- 24日 議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)
- 25日 老人クラブ連合会創立50周年記念式典
(改善センター、議長)
- 26日 上川管内町村議会議員研修会 (美瑛町、全議員)
- 31日 今津ひろし大収穫祭 (旭川市、副議長)



真剣なまなざしで傍聴する6年生

9月13日第3回議会定例会に中央小学校
6年生25名、教員2名、一般の方2名の傍聴
がありました。

12月は第4回定例会があります。
日程は防災無線でお知らせしますので、町
民の皆さん傍聴に来てください。

近い将来、コンピューターがプロスポーツチーム
のコーチができるようになるという。
我々は今、激動の社会を生きています。明日、
どのような技術革新が起きてもそれほど不思議で
はない世の中です。
10年後の社会が想像できるでしょうか。
そして10年後の比布町はどんなになっているでし
ょうか。
北海道中の自治体が町のこれからについて真剣
に討議しています。どうすれば、人口が増えるの
か、町が活性化するのが、安心して暮らせるのが、
云々。
未来を見据えて、議会と行政が情報を共有し、
創造力を働かせて議論を続けなければならぬと
思います。
(植西 浩一)

◆ 編集後記 ◆